

第 3 回 五泉市地域公共交通活性化協議会

■日時 :平成 23 年 3 月 23 日(水) 14:00~16:00

■会場 :五泉市福社会館 3 階 大会議室

■議事次第

1. 開 会
2. あいさつ 会長 伊藤 勝美
3. 議 事
 - (1) ふれあいバスの利用状況等について
 - (2) ごせん乗合タクシー「さくら号」の利用状況等について
 - (3) 公共交通利用促進事業の実施結果について
 - (4) 平成 23 年度事業の実施計画案について
 - (5) 平成 23 年度予算案について
 - (6) 今後のスケジュールについて
 - (7) その他
4. 閉 会

■資料

【配布資料】

- ◇議事次第 ◇出席者名簿 ◇配席図

【議事資料】

- 資料 1. ふれあいバスの利用状況
資料 2. ごせん乗合タクシー「さくら号」の利用状況
資料 3-1. 公共交通利用説明会の実施状況
資料 3-2. 広報等の実施状況
資料 4-1. 平成 23 年度 ふれあいバスの実施計画(案)
資料 4-2. 平成 23 年度 ごせん乗合タクシー「さくら号」の実施計画(案)
資料 4-3. 平成 23 年度 公共交通利用促進事業の実施計画(案)
資料 5. 平成 23 年度 五泉市地域公共交通活性化協議会予算(案)
資料 6. 今後のスケジュールについて(案)

■出席者(敬称略)

	所 属	役 職	氏 名	備 考
1	五泉市	市長	いとう かつみ 伊藤 勝美	会長
2	新潟交通観光バス株式会社	常務取締役	たまき こうすけ 田巻 耕介	
3	蒲原鉄道株式会社	代表取締役専務	しげの かずひろ 茂野 一弘	
4	東日本旅客鉄道株式会社 新潟支社総務部	企画室長	にしだ さとし 西田 聡	欠席
5	泉観光バス株式会社	代表取締役	せきづか まさゆき 関 塚 政行	代理出席 営業課長 さとう まこと 佐藤 誠
6	社団法人新潟県バス協会	事務局長	こばやし まさゆき 小林 正幸	欠席
7	五泉市ハイタク協議会	会長	たきざわ りゅう 瀧澤 龍	
8	新潟県新潟地域振興局 新津地域整備部	部長	ふじた たいし 藤田 太子	
9	五泉市都市整備課	課長	つかの ふみお 塚野 文雄	
10	新潟県五泉警察署	署長	さわだ さくみ 澤田 作美	代理出席 交通課長 かとう やすえい 加藤 保栄
11	五泉市老人クラブ連合会	副会長	わたなべ てるお 渡 邊 照男	
12	五泉市小中学校 PTA 連絡協議会	会長	たかの てるつぐ 高野 晃次	欠席
13	長岡技術科学大学	准教授	さの かずし 佐野 可寸志	副会長 欠席
14	国土交通省北陸信越運輸局 企画観光部交通企画課	課長	すずき のぶあき 鈴木 延明	欠席
15	国土交通省北陸信越運輸局 新潟運輸支局	首席運輸企画専門官	さとう しゅういち 佐藤 収一	

	所 属	役 職	氏 名	備 考
16	新潟県新潟地域振興局 企画振興部	部長	ふじさわ いさむ 藤 沢 勇	欠席
17	新潟市秋葉区地域課	課長	かわせ まさゆき 川 瀬 正之	代理出席 企画係長 おぐれ かつふみ 尾 暮 克文
18	加茂市福祉事務所	所長	あおやぎ よしき 青 柳 芳樹	代理出席 次長 めぐろ ひろゆき 目 黒 博之
19	阿賀野市総務課	課長	かとう かずお 加 藤 一男	代理出席 課長補佐 おぎの しょうじ 荻 野 正治
20	五泉商工会議所	専務理事	さとう まさお 佐 藤 正雄	監査員 欠席
21	村松商工会	事務局長	いしぐろ てつじ 石 黒 哲嗣	監査員 代理出席 経営支援室長 はせがわ ゆたか 長 谷 川 豊
22	五泉市商工観光課	課長	にしかわ かずあき 西 川 和 明	代理出席 観光係長 まつお としひろ 松 尾 寿 弘
23	五泉市社会福祉協議会	会長	ひうら みつお 樋 浦 三男	代理出席 事務局長 つかの たけお 塚 野 健男
24	五泉市健康福祉課	課長	ばんば ゆきお 番 場 幸夫	
25	日本労働組合総連合会 新潟県連合会 下越地域協議会五泉支部	副支部長	さとう よしのり 佐 藤 良 徳	
26	五泉市高齢福祉課	課長	さかい のりこ 酒 井 範子	欠席

	所 属	役 職	氏 名	備 考
27	五泉市教育委員会 学校教育課	課長	おぐろ つねき 小黒 常樹	代理出席 課長補佐 くまくら じゅんや 熊倉 淳也

■事務局(五泉市企画政策課)

- 事務局長 長谷川 昭志
- 事務局次長 廣瀬 郁平
- 事務局員 中村 康輔
- 事務局員 松尾 聡
- 事務局員 高橋 誠

■議事録

開会 14:00	
司会 (長谷川 事務局 局長)	<p>定刻になりましたので、第3回五泉市地域公共交通活性化協議会を開会いたします。</p> <p>次第に基づき進めさせていただきます。</p> <p>はじめに伊藤会長よりごあいさつをお願いします。</p>
伊藤 会長	<p>本日はご多用の中、ご出席をいただきまして、有り難うございます。</p> <p>また、日ごろ、市政運営にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。</p> <p>さて、昨年10月1日から本協議会が、国の支援を受けて、ふれあいバスと乗合タクシーさくら号の運行を開始してから、まもなく半年になろうとしています。</p> <p>この間、委員の皆様には多大なご協力をいただきました。</p> <p>おかげをもちまして、大きな事故もなく順調に運行しているところであります。</p> <p>本日は、これまでの利用状況と23年度の実施計画についてが、主な議題となっております。</p> <p>それぞれの分野からお越しいただいている委員の皆様から、幅広い視点でご協議いただき、忌憚のない意見を出し合い、進めて行きたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p>
司会 (長谷川 事務局 局長)	<p>ありがとうございました。これより議事を会長にお願いします。</p>
伊藤 会長	<p>それでは議事に入る前に、本協議会規約第12条第2項の規程により、「会議の成立は委員の過半数」となっておりますが、委員の出席数を事務局から報告してください。</p>
事務局(高橋)	<p>委員27名中、只今の出席は18名です。</p>
伊藤 会長	<p>今ほど事務局から27名中18名の出席との報告がありましたので、この会議は成立しております。</p> <p>それでは議事に入ります。「(1)ふれあいバスの利用状況等について」から「(3)公共交通利用促進事業の実施結果について」まで、一括して事務局の説明を求めます。</p>
事務局(高橋)	<p>説明に入る前に本日の資料の確認をさせていただきます。</p> <p>資料の確認</p> <p>それでは、説明に入りたいと思います。</p> <p>まず、(1)ふれあいバスの利用状況等について、資料1をご覧ください。本資料は、昨年10月に運行を開始してから本年2月末現在までの実績をまとめたものです。</p> <p>1、月別利用者数ですが、2月と10月を比較すると52.6%(2,665人/月)増加しております。属性別でみると、中学生以上が99.5%を占めております。また、連携計画の目標値と比較した達成率は、135.9%となっております。</p>

次に、2、平均利用者数ですが、2月と10月を比較すると69.0%(112.7人/日)増加しております。曜日別でみると、平日が73.8%(153.3人/日)増加し、土・日・祝日は16.9%(14人/日)増加しております。また、1便当たりでみると、1・2月は10人以上利用しております。

次に、3、バス停別利用状況ですが、これは2回(秋期・冬期)実施した乗降調査のデータより、バス停別の利用状況を抽出したものです。乗降調査は、各回1週間ずつ、全ての便において、全てのバス停ごとに、属性別に、乗車・降車の人数を調査しました。バス停別にみると、五泉高校前・学校町一丁目は高校生の通学利用が多く、五泉駅前・村松駅前には高校生ほか一般の利用も多いという結果でした。また、冬期と秋期を比べた場合、本町一丁目は高校生と一般の利用者が大幅に増加し、村松上町・学校町一丁目は高校生の利用者が大幅に増加しました。なお、利用者の内訳を属性別にみると、一般と高校生が約半数ずつという結果でした。

次に、4、収入ですが、2月と10月を比較すると14.3%(135,992円)増加しております。種類別でみると、運賃収入が15.5%、乗り放題券販売収入は12.6%伸びております。また、運賃収入が、収入全体の62.4%を占めております。

次に、5、収支率ですが、ランニングコストのみでみた収支率は29.6%となっております。利用者数と収入は目標値を上回るものの、収支率は目標値よりも10.7ポイント低くなっております。

続きまして、(2)ごせん乗合タクシー「さくら号」の利用状況等について、資料2をご覧ください。本資料は、昨年10月に運行を開始してから本年2月末現在までの実績をまとめたものです。

1、利用登録者ですが、市民の8.8%(4,902人)が利用登録をしております。性別でみると、女性の利用登録が男性の約1.6倍となっております。また、市民の2.3%(登録者の25.9%)が、実際に利用しております。

次に、2、利用登録世帯ですが、世帯の13.5%(2,464件)が利用登録をしております。また、世帯の5.6%(登録世帯の41.9%)が、実際に利用しております。

次に、3、月別利用者数ですが、2月と10月を比較すると50.7%(1,131人)増加しております。属性別にみると、中学生以上が99.2%を占めております。方面別にみると、五泉東32.6%、五泉西18.3%、村松49.1%となっております。また、連携計画の目標値と比較した達成率は、67.5%となっております。

次に、4、平均利用者数ですが、2月と10月を比較すると63.9%(57人/日)増加しております。曜日別でみると、平日が58.7%(59.6人/日)、土・日・祝日は86.4%(34.9/日)増加しております。また、1便当たりでみると、1.8~2.0人の乗合となっております。

次に、5、年代別利用者ですが、5ヶ月間の延べ利用者を年代別でみた場合、利用者全体の73.8%が、60代以上となっております。利用が最も多いのは80代の30.6%で、反対に利用が最も少ないのは20代の2.0%となっております。

	<p>次に、6、乗降場所ランキングですが、降車場所(行き)でみると、多い順に①医療機関 40.9%、②公共施設 18.4%、③福祉施設 10.3%となっております。また、乗車場所(帰り)でみると、多い順に①医療機関 26.1%、②スーパー21.9%、③公共施設 18.1%となっております。このことから、医療機関で治療等を受けた後、スーパーで買い物をしてから帰宅するという行動パターンの人が多いと思われます。</p> <p>次に、7、時間帯別利用状況ですが、午前・午後で比較すると、午前 52.0%、午後 48.0%の利用となっております。午前は、市街地行き(8:00、9:00、10:00)の便に利用が集中しておりますが、午後は郊外行き(12:30)便の利用が最も多いものの、その他の便は利用が比較的分散しております。</p> <p>次に、8、収入ですが、月 95 万円前後で、ほぼ横ばいに推移しております。種類別でみると、運賃と乗り放題券の割合がほぼ同じとなっており、収入の 9 割以上を占めております。</p> <p>次に、9、収支率ですが、ランニングコストのみでみた収支率は28.1%となっております。利用者数と収入は目標値を下回るものの、経費の一部(オペレーター人件費)を除いているため、収支率は目標値よりも 0.3 ポイント高くなっております。</p> <p>続きまして、(3)公共交通利用促進事業の実施結果について、資料 3-1 をご覧ください。本資料は、昨年 6 月から本年 2 月末現在までに市内各地域で実施した公共交通利用説明会の実施状況をまとめたものです。延べ 106 ヶ所に出向き、延べ 1,941 人の方にふれあいバスと「さくら号」の利用方法等を説明いたしました。お茶の間サロンというのは、高齢者が地域の公民館等に集まって様々な勉強・運動・イベントをするという集会ですが、最も多い 80 ヶ所で説明会を開催いたしました。</p> <p>次に、資料 3-2 をご覧ください。本資料は、昨年 4 月から本年 2 月末現在までに実施した広報等の実施状況をまとめたものです。</p> <p>パンフレット・チラシでは、五泉市公共交通時刻表のほか、予約電話番号のかけ間違い防止や、よくあるお問い合わせについてのチラシを作成し、全戸へ配布いたしました。</p> <p>次に、広報ごせんにより、公共交通体系変更のお知らせや、ふれあいバス及び「さくら号」の利用方法等について計 6 回掲載し、市民への周知に努めました。</p> <p>次に、市ホームページにより、五泉市地域公共交通活性化協議会の会議録を掲載したほか、公共交通体系変更のお知らせや、ふれあいバス及び「さくら号」の利用方法等について掲載し、市民への周知に努めました。</p> <p>以上、(1)～(3)まで一括して説明をさせていただきました。</p>
伊藤 会長	<p>ただいま、説明がありました点について質疑はございませんか。</p> <p>質疑なし</p> <p>無いようでありますので、それでは次に(4)平成 23 年度事業の実施計画案</p>

	<p>について事務局の説明を求めます。</p>
<p>事務局(中村)</p>	<p>それでは、「平成 23 年度事業の実施計画案について」説明申し上げます。資料 4-1 をご覧ください。</p> <p>まず1. 運行形態ですが、道路運送法第4条による一般乗合運行を継続します。それから、運行の効率化及び収支率の改善に向け、実施主体や委託方法等の見直しを検討するとありますが、この説明の前に国の補助金について先にお話しさせていただきたいと思います。</p> <p>平成22年度から受けている、国の地域公共交通活性化再生総合事業という補助金の制度が今年度いっぱい廃止になり、平成23年度から新しい補助制度になります。ただ私たちの協議会につきましては、平成23年度も経過措置として今までの枠組み通り補助金を頂けるとなっていますが、新しい補助制度が不透明なところもあります。説明会に出向いて話を聞いているうちは、ふれあいバスにつきましては、今後も国の補助の対象になり得るのではないかと考えております。それから、さくら号につきましては、果たして補助の対象になるかどうか不透明な部分があります。そちらについては、平成24年度からの移行を目指していただかなければいけないと思います。説明会の中では事業者が補助対象という説明もありまして、もしかすると今後、事業者さんから直接国に対して補助申請をしてもらう必要があるかもしれないと考えております。実施主体や委託方法等の見直しを検討するということで、今後検討せざるをえない状況になりましたら、このような中で検討させていただきたいと思います。</p> <p>それから、2. 運行ルート・バス停・バス待合所ですが、利便性の向上及び運行の効率化に向け、利用状況や乗降調査の結果等を踏まえ、運行ルート等の見直しを検討するとあります。まず運行ルートですが、運行を開始して半年が経ちますが、南部郷総合病院の玄関の前に乗り入れてほしいという要望があります。これを見て今後運行していただきます乗合バス協議会さんとも協議をしていきたいと思っております。</p> <p>それから、バス停ですが、地域の方から家の前にバス停を設置してほしいという要望が何件かきております。ただ、むやみやたらにバス停を設置するわけにはいきませんので、他の市でもやっておりますが、新しいバス停を設置したら、大体このくらいは乗りますと目標を立ててバス停を設置するというように検討していきたいと思っております。</p> <p>それから、バス待合所ですが、屋根をつける等どこまでできるかは分かりませんが、対応していける部分は対応していきたいと思っております。</p> <p>それから、3. 運行日・運行ダイヤですが、(1)運行日を少し拡大したいと思います。医療機関等、開業している日程に合わせて、年末年始の運行日を 12 月 29 日～1 月 3 日を 12 月 31 日～1 月 3 日ということで対応していきたいと思っております。それから、(2)利便性の向上及び運行の効率化に向け、利用状況や乗降調査の結果等を踏まえ、見直しを検討するということにつきましては、先程</p>

の2と同じです。

次に4. 運賃・割引ですが、(1)利用促進を図るため、通常運賃よりも割安な「回数乗車券」を発行したいと思っております。大人1回200円×11枚綴りで2000円ということで発行していきたいと思っております。それから、(2)販売につきましては、蒲原鉄道・新潟交通・泉観光・各乗合バスの事業所・五泉市役所(企画政策課・地域振興課・売店)で販売したいと思います。それから、(3)につきましては今と同じですが、障がい者の割引制度を利用する場合は、乗車時に各手帳を確認していただきたいですし、障害の程度は問わないこととします。それから、(4)払い戻しは、未使用の場合のみ可とし、販売店で手数料200円を差し引いた差額を払い戻すということになっております。

それから、5. 運行車両ですが、これはまだ決まったことではありませんが、五泉市で新たに車両を購入するための寄付をうける予定です。寄付金をもって車両を購入した場合、ふれあいバスの運行の中に入れていただきたいと考えております。

それから、6. 乗降調査ですが、4回(春・夏・秋・冬)行うことになっています。

それから、7. アンケート調査ですが、年1回、1週間連続で全ての便の利用者に対し、アンケート用紙を配布・回収したいと思っております。こちらに関しては、乗合バス協議会さんの方で実施して頂くことになりませんが、今年度まだ実施しておりませんので、実施する内容につきましては、各事業者さんにつめていきたいと思っております。

次に資料 4-2 をご覧ください。

まず1. 運行形態ですが、(1)運行の効率化及び収支率の改善に向け、委託方法等の見直しを検討します。それから、(2)現在の道路運送法第21条による区域乗合運送ということで、許可を各タクシー事業者さん・五泉市ハイタク協議会さんが運行しているタクシー事業者さんが行っているわけですが、1年間ということですので速やかに道路運送法第4条による区域乗合運行へ移行することしていきたいと思っております。

それから、2. 予約・利用方法ですが、利便性の向上に向け、利用状況やアンケート調査の結果等を踏まえ、見直しを検討します。

それから3. 運行エリアですが、利便性の向上及び運行の効率化に向け、利用状況やアンケート調査の結果等を踏まえ、見直しを検討します。2と3につきましては現段階で具体的な考えはありませんが、状況を見ながら決まり次第、このような会でお話を聞きたいと思っております。

それから、4. 運行日・運行時間ですが、ふれあいバスと同様に年末年始の運休日を縮小していきたいと思っております。それから、(2)につきましてもふれあいバスと同様ですが、乗合の効率が1回の便に2人乗るか乗らないということもありますので、乗合効率を上げるために30分をもう少し延ばした方が良いのかということも意見としてありますし、30分の利便性を損なうというのもどうかという

	<p>ことにもなっていますので、今後検討していきたいと思っております。こちらの車身については、ハイタク協議会さんとつめていきたいと考えております。</p> <p>それから、5. 運賃・割引ですが、(1)利用促進を図るため、通常運賃よりも割安な障害者用の回数券を発行するとありますが、今まで3000円券と1500円券の2種類あったのですが、障がい者については1割引ということで、3000円券を2700円券として販売していましたが、分かりづらいということもありました。2700円券、それから1350円券として種類を追加して販売していきたいと思っております。それから、販売先につきましては、(2)と同様にしていきたいと思っております。確認方法につきましては、(3)と同様にしていきたいと思っております。それから、(4)払い戻しについては、未使用の場合のみ可とし、販売店で全額を払い戻せるということしていきたいと思っております。</p> <p>それから、6. アンケート調査に関しては、利用者の満足度や需要などを把握するため、年1回実施し、1週間連続で全ての便の利用者に対し、アンケート用紙を配布・回収するというのですが、こちらについてはまだ検討していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、資料 4-3 をご覧ください。</p> <p>まず1. 五泉市公共交通時刻表ですが、こちらは既に昨年9月に発行して全世帯にお配りしておいたものがございまして、これに続くものにつきましてはまた改めて発行していきたいと思っております。時期は未定ですが、ダイヤ改正等あればその時に合わせた方が良く考えております。</p> <p>それから、2. 利用説明会ですが、今年度101箇所説明をさせていただきましたが、今後も引き続きやっていきたいと思っております。利用登録につきましても、今後も引き続きやっていきたいと思っております。</p> <p>それから、3. (仮称)利用促進会議ということで、今年度の事業の計画の中にもありましたが、少し取り組みが弱かったせいで会の設立までは至りませんでした。来年度も引き続き「さくら号」の運行をより良くするための仕組みを作っていきたいと考えておりますし、取り組みながら運行上の課題・問題点を検討していきたいと思っております。それから、メンバーにつきましては(3)のようになります。</p> <p>それから、4. その他ですが、協議会である五泉市が責任を持って広報ごせん・五泉市ホームページに利用方法等掲載し、利用促進を図ってきたいと思っております。</p> <p>以上が実施計画の案でございます。よろしくお願いいたします。</p>
伊藤 会長	ただいまの「平成 23 年度事業の実施計画案について」質疑はございませんか。
藤田 委員	資料 4-2 の1. 運行形態(2)道路運送第21条による区域乗合運行の詳細を教えてください。

事務局(中村)	<p>本来であれば乗合をするためには、道路運送法第4条の乗合の許可が必要になっております。ただし今現在「さくら号」を運行されているタクシー事業者さんにおきましては、一般乗用というタクシーの免許だけしかありません。</p> <p>道路運送法第21条は暫定的に、乗合を実行できるという法律です。本来であれば道路運送法第4条による区域乗合運行というのは運輸局の許認可が必要になってくるわけですが、それを取らないで21条で暫定的に1年間やっているのが現状です。</p>
伊藤 会長	<p>他に無いようでありますので、それでは次に(5)平成 23 年度予算案について事務局の説明を求めます。</p>
事務局(中村)	<p>それでは、「平成 23 年度予算について」説明申し上げます。資料 5 をご覧ください。</p> <p>まず1、歳入ですが、五泉市負担金が 46,075 千円、補助金ですが先程も申しましたが、23年度が経過措置として同じ仕組みで補助金が頂けるということで19,567 千円を見込んでおります。繰越金は 1、それから、ふれあいバスの運賃収入が 11,780 千円、さくら号乗合タクシーの運賃収入が 14,605 千円、合計 92,028 千円となっております。</p> <p>それから、2、歳出ですが、運営費の中でも会議費が 155 千円、事務費 254 千円、事業費が 91,609 千円、予備費が 10 千円、合計 92,028 千円となっております。先程ふれあいバスとさくら号について今後こうしたいというお話がありました。その辺りで変更が起きた場合でも、その都度対応していきたいと思っておりますし、場合によってはこちらの会を持って、また予算の変更を審議いただきたいと考えております。</p>
伊藤 会長	<p>ただいまの「平成 23 年度予算案について」質疑はございませんか。</p>
瀧澤 委員	<p>さくら号ですが、旧五泉と旧村松を走るのでは走行距離がかなり違い、旧村松では一日平均200km以上走ります。燃料の価格が高騰している中不公平ですので、委託料の算定について考慮していただきたいです。</p>
事務局(中村)	<p>今ほどの件につきましては、走行実績のデータが受付予約センターにありますので、走行実績による積算をしていきたいと思っております。よろしく申し上げます。</p>
伊藤 会長	<p>それでは、「平成 23 年度事業及び平成 23 年度予算」については、案のとおり決定することをご異議ございませんでしょうか。</p> <p>異議なし</p> <p>ご異議がないようですので、案のとおり承認いただけたものとします。</p> <p>それでは次に(6)今後のスケジュールについて事務局の説明を求めます。</p>

事務局(中村)	<p>それでは、「今後のスケジュールについて」説明申し上げます。資料 6 をご覧ください。</p> <p>一番上は本日のことになりまして、次に23年度第1回「五泉市地域公共交通活性化協議会」を6月下旬を目途に開催したいと思います。内容につきましては、22年度決算報告と変更が生じた部分についてご審議頂くこともあるかと思っております。</p> <p>それから次に第2回「五泉市地域公共交通活性化協議会」を11月下旬ということで、上半期が終わったの利用状況等をご審議いただきたいと思います。それから、利用者の説明会や利用促進会議につきましては随時事務局等で対応していきたいと思っております。それから第3回「五泉市地域公共交通活性化協議会」を今くらいの時期に開催したいと思います。内容につきましては、23年度の事業報告、それから次年度に向けた予算等をご審議いただきたいと思います。また、皆様からご審議いただきたいことが生じましたら、これによらず開催させていただきたいと思っておりますので、ご協力よろしく申し上げます。</p>
伊藤 会長	<p>ただいまの「今後のスケジュールについて」質疑はございませんか。</p> <p>質疑なし</p> <p>ありがとうございました。以上をもちまして、本日の議事は終了いたします。</p> <p>それでは、本日の決定に基づき、平成23年度の事業を進めていきますので、皆様のご協力をお願いします。</p> <p>以上をもちまして第3回五泉市地域公共交通活性化協議会を終了いたします。ご協力、ありがとうございました。</p>
閉会 14:45	